

令和 6 年度

城下まちづくり未来会議総会

城下まちづくり未来会議

令和6年度 城下まちづくり未来会議総会 議案書

1 城下まちづくり未来会議

第1号議案	令和5年度	城下まちづくり未来会議事業報告
第2号議案	令和5年度	城下まちづくり未来会議決算報告 監査報告
第3号議案	令和6年度	城下まちづくり未来会議役員について（案）
第4号議案	令和6年度	城下まちづくり未来会議事業計画（案）
第5号議案	令和6年度	城下まちづくり未来会議予算（案）
参 考		城下まちづくり未来会議組織図・城下まちづくり未来会議規約

2 城下地区自治会連合会

第6号議案	令和5年度	城下地区自治会連合会事業報告
第7号議案	令和5年度	城下地区自治会連合会及び 城下地区防災センター決算報告 監査報告
報 告	令和6年度	城下地区自治会連合会役員について
第8号議案	令和6年度	城下地区自治会連合会事業計画（案）
第9号議案	令和6年度	城下地区自治会連合会及び 城下地区防災センター予算（案）

3 城下地区社会福祉協議会

第10号議案	令和5年度	城下地区社会福祉協議会事業報告
第11号議案	令和5年度	城下地区社会福祉協議会決算報告 監査報告
第12号議案	令和6年度	城下地区社会福祉協議会役員について（案）
第13号議案	令和6年度	城下地区社会福祉協議会事業計画（案）
第14号議案	令和6年度	城下地区社会福祉協議会予算（案）

4 城下地区防犯防災協議会

第15号議案	令和5年度	城下地区防犯防災協議会事業報告
第16号議案	令和5年度	城下地区防犯防災協議会決算報告 監査報告

- | | | |
|----------|---------|----------------------|
| 第 17 号議案 | 令和 6 年度 | 城下地区防犯防災協議会役員について(案) |
| 第 18 号議案 | 令和 6 年度 | 城下地区防犯防災協議会事業計画 (案) |
| 第 19 号議案 | 令和 6 年度 | 城下地区防犯防災協議会予算 (案) |

5 城下地区環境建設協議会

- | | | |
|----------|---------|----------------------|
| 第 20 号議案 | 令和 5 年度 | 城下地区環境建設協議会事業報告 |
| 第 21 号議案 | 令和 6 年度 | 城下地区環境建設協議会役員について(案) |
| 第 22 号議案 | 令和 6 年度 | 城下地区環境建設協議会事業計画 (案) |

令和6年度 城下まちづくり未来会議総会 議案書

1 城下まちづくり未来会議

第1号議案	令和5年度	城下まちづくり未来会議事業報告	・・・	1 頁
第2号議案	令和5年度	城下まちづくり未来会議決算報告 監査報告	・・・	3 頁
第3号議案	令和6年度	城下まちづくり未来会議役員について（案）	・・・	4 頁
第4号議案	令和6年度	城下まちづくり未来会議事業計画（案）	・・・	5 頁
第5号議案	令和6年度	城下まちづくり未来会議予算（案）	・・・	7 頁
参 考		城下まちづくり未来会議組織図・城下まちづくり未来会議規約	・・・	8 頁

2 城下地区自治会連合会

第6号議案	令和5年度	城下地区自治会連合会事業報告	・・・	12 頁
第7号議案	令和5年度	城下地区自治会連合会及び 城下地区防災センター決算報告 監査報告	・・・	13 頁
報 告	令和6年度	城下地区自治会連合会役員について	・・・	15 頁
第8号議案	令和6年度	城下地区自治会連合会事業計画（案）	・・・	16 頁
第9号議案	令和6年度	城下地区自治会連合会及び 城下地区防災センター予算（案）	・・・	17 頁

3 城下地区社会福祉協議会

第10号議案	令和5年度	城下地区社会福祉協議会事業報告	・・・	19 頁
第11号議案	令和5年度	城下地区社会福祉協議会決算報告 監査報告	・・・	21 頁
第12号議案	令和6年度	城下地区社会福祉協議会役員について（案）	・・・	22 頁
第13号議案	令和6年度	城下地区社会福祉協議会事業計画（案）	・・・	24 頁
第14号議案	令和6年度	城下地区社会福祉協議会予算（案）	・・・	26 頁

4 城下地区防犯防災協議会

第15号議案	令和5年度	城下地区防犯防災協議会事業報告	・・・	27 頁
第16号議案	令和5年度	城下地区防犯防災協議会決算報告 監査報告	・・・	30 頁

第 17 号議案	令和 6 年度	城下地区防犯防災協議会役員について(案)	・ ・ ・	31 頁
第 18 号議案	令和 6 年度	城下地区防犯防災協議会事業計画 (案)	・ ・ ・	32 頁
第 19 号議案	令和 6 年度	城下地区防犯防災協議会予算 (案)	・ ・ ・	35 頁

5 城下地区環境建設協議会

第 20 号議案	令和 5 年度	城下地区環境建設協議会事業報告	・ ・ ・	36 頁
第 21 号議案	令和 6 年度	城下地区環境建設協議会役員について(案)	・ ・ ・	39 頁
第 22 号議案	令和 6 年度	城下地区環境建設協議会事業計画 (案)	・ ・ ・	40 頁

令和5年度 城下まちづくり未来会議事業報告

1 総括

「城下まちづくり未来会議」が設置され6年目の事業年度が終了しました。

新型コロナウイルスの感染法上の位置付けが「5類」に移行されたことでコロナ禍も区切りを迎えた中で、3年ぶりに対面での総会を開催することができました。

未来会議の活動については、まだまだコロナ禍以前の状態には戻らないものの、地域住民、関係機関・団体等のご支援、ご協力をいただき「第1回城下消防まつり」などに取り組むことができました。

令和6年度は、住民のふれあい、支え合いを中心としたコミュニティづくりなど城下まちづくり未来会議の本来の活動ができるものと総括いたします。

2 城下地区まちづくり計画に基づく事業について

令和4年3月に策定した「城下まちづくり計画」(期間 令和4年度～令和8年度)に基づき、まちづくり構想の3本柱「活力あふれ、生活を支えるまちづくり」、「ともに支え合うまちづくり」、「安全安心なまちづくり」の実現を目指し事業を行いました。

個別の内容、実績につきましては、まちづくり未来会議を構成する自治会連合会、社会福祉協議会、防犯防災協議会及び環境建設協議会の事業報告のとおりです。

3 行政への要望活動について

令和5年12月13日、上田市長に「令和5年度城下まちづくり未来会議要望書」を提出しました。

要望に当たっては、環境建設協議会と自治会連合会が中核となり、「安全安心なまちづくり」に向け協議を重ね、防災関連対策の課題を要望項目として取りまとめました。

要望の内容等につきましては、環境建設協議会の事業報告をご参照ください。

4 上田市主催の会議等への参加について

上田市主催の令和5年度住民自治組織全体会議に出席し、住民自治組織への交付金、まちづくり支援金等についての協議、住民自治組織役員相互の意見交換を行いました。

また、上田市が企画したまちづくり講演会（テーマ「地域自治組織の役割と持続可能な地域づくり」）へ参加した他、長野、上田、千曲各市、坂城町、県企業局の5者が検討する「上田長野地域水道事業広域化研究会」の地元説明会に出席しました。

5 城下まちづくり未来会議総会等について

1の項目で記載した令和5年度城下まちづくり未来会議総会につきましては、規約に基づき未来会議役員による会議として開催し、関係議案についてご承認をいただきました。

会長、副会長、会計、事務局長による拡大三役会を月例で開催し、事業執行について必要な協議・調整等を行いました。

6 太陽光発電施設への対応について

令和4年10月に締結された協定に基づき、適法に施設の建設が行われているかどうか自治会関係者と現場確認を行うとともに、自治会連合会と連携して、業者に対し地元説明会開催の要望等に取り組みました。

第2号議案

令和5年度 城下まちづくり未来会議決算

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

会長 増澤 吉雄
会計 金井 保芳

収入総額	4,964,110円
支出総額	4,964,000円
交付金戻入額	0円 上田市に返戻分預り
差引次期繰越額	110円

(収入の部)

(単位：円)

項目	上田市科目	本年度予算額 (A)	本年度決算額 (B)	比較増減 (C)=(B-A)	備 考
1. 交付金	交付金	4,964,000	4,964,000	0	上田市より
2. 雑収入	雑入	25	26	1	預金利息
3. 繰越金	繰越金	84	84	0	
	合 計	4,964,109	4,964,110	1	

(支出の部)

(単位：円)

項目	上田市科目	本年度予算額 (A)	本年度決算額 (B)	比較増減 (C)=(B-A)	備 考
1. 運営費・活動費	報酬	430,000	410,000	△ 20,000	役員手当 21名
	賃金	1,399,000	1,400,790	1,790	事務局員賃金12ヶ月
	報償費	90,000	0	△ 90,000	
	旅費	45,000	4,950	△ 40,050	交通費
	消耗品費	432,400	306,995	△ 125,405	あいさつ運動のぼり旗49 日用雑貨、事務用品他
	燃料費	0	0	0	
	食糧費	78,000	84,611	6,611	お茶代
	印刷製本費	544,000	501,930	△ 42,070	総会152防災計画増刷87 まちづくり通信262
	光熱水費	4,000	0	△ 4,000	
	修繕料	15,000	8,800	△ 6,200	事務室のエアコン修理点検
	通信運搬費	153,000	120,797	△ 32,203	電話、ネット、切手代他
	手数料	5,000	0	△ 5,000	
	保険料	0	0	0	
	委託料	72,600	72,000	△ 600	HPメンテナンス委託6×12か月
	使用料及び賃借料	370,000	278,400	△ 91,600	事務所賃借料22×12か月 HPサーバーレンタル料1.2×12か月
	原材料費	0	0	0	
	備品購入費	611,000	1,074,127	463,127	防災倉庫477投光器97発電機121 非常用ポータブル電源328他
	負担金	215,000	200,600	△ 14,400	消防祭り200講演会0.6
	積立金	500,000	500,000	0	防災倉庫建設資金用 3ヵ年積立の2年目
	予備費	109	0	△ 109	
	合 計	4,964,109	4,964,000	△ 109	

城下まちづくり未来会議(積立金) 口座番号 0226711 残高 1,000,005円 (普通貯金・信州うえだ農協 上田西支所)

会計監査報告

上記につき帳簿及び証拠書類を監査した結果、すべて適正に処理されていることを認めます。

令和5年4月3日
監事 田玉 治實 ㊟
監事 沓掛 勝也 ㊟

第3号議案

令和6年度 城下まちづくり未来会議役員（案）

任期：承認された日から令和7年3月31日まで

（敬称略）

番号	役 職 名	氏 名	所属団体等	自治会
1	会 長	増澤 吉雄	城下まちづくり未来会議	中 村
2	副 会 長	中澤 照夫	城下まちづくり未来会議	中之条
3	副 会 長	手塚 博明	防犯防災協議会会長 城下自治会連合会評議員	須 川
4	副 会 長	西入 直喜	環境建設協議会会長	小 牧
5	副 会 長	降旗 次男	城下自治会連合会会長	小 牧
6	事 務 局 長	高橋 義幸	社会福祉協議会会長	中之条
7	会 計	金井 保芳	城下まちづくり未来会議	諏訪形
8	委 員	斎藤 平二	城下自治会連合会副会長	御 所
9	委 員	山越 敏雄	城下自治会連合会副会長	諏訪形
10	委 員	坂口 澄夫	城下自治会連合会会計	朝日ヶ丘
11	委 員	荒井 則雄	城下自治会連合会センター管理・評議員	中 村
12	委 員	神原 新一	城下自治会連合会評議員	千曲町
13	委 員	並木 重信	城下自治会連合会監事	三好町
14	委 員	中沢 守人	城下自治会連合会監事	中之条
15	委 員	竹内 久子	社会福祉協議会	朝日ヶ丘
16	委 員	水上 明美	社会福祉協議会	御 所
17	委 員	長坂 邦彦	防犯防災協議会	小 牧
18	監 事	長谷川 和生	城下まちづくり未来会議	御 所
19	監 事	窪田 善雄	城下まちづくり未来会議	諏訪形
20	顧 問	沓掛 勝也	城下まちづくり未来会議	御 所
21	顧 問	小坂井 正明	防犯防災協議会	御 所
22	顧 問	小林 久敏	防犯防災協議会	諏訪形
23	顧 問	小野澤 義和	環境建設協議会	中 村
24	相 談 役	宮下 省二	市議会議員	諏訪形
25	地域担当職員	滝沢 昌樹	城南公民館 地域担当職員	—

令和6年度 城下まちづくり未来会議事業計画（案）

1 事業活動の基本的な方向性

令和6年元旦に発生した能登半島地震は甚大な被害をもたらし、ライフラインの確保、避難所の運営等多くの課題を抱え、復旧には相当の時間がかかることが見込まれます。

そして、災害現場の第一線で人命救助や被災家屋の撤去など全力で取り組まれている消防職員等のご努力には敬意を表するものです。

こうした状況を見るにつけ、日頃から地域全体で消防・防災力を高めることの重要性を改めて認識するものであり、これを目的に昨年度実施した「第1回城下消防まつり」は大変意義があったと捉えております。

今年度以降も継続して実施し、地域住民の防災への備え等の啓発、地域消防・防災を支える消防団第六分団の団員確保に努め、「安全安心なまちづくり」を目指すことが何より重要です。

令和6年度は、「城下まちづくり計画」5か年期間の3年目となります。同計画に基づき城下地域全体の課題解決に向け、城下まちづくり未来会議を構成する自治会連合会、社会福祉協議会、防犯防災協議会及び環境建設協議会の4団体が中核となり、地域住民、各自治会、NPO、企業など幅広い関係者と連携・協働して事業に取り組んでまいります。

2 広報活動の取り組み

広報紙「城下まちづくり通信」、ホームページなどを通して、城下まちづくり未来会議及び構成団体等の活動状況をお知らせし、住民参加によるまちづくりを進めてまいります。

3 川辺泉田まちづくり協議会との連携

城下地域に隣接する「川辺泉田まちづくり協議会」とは、これまで共通する地域課題（太陽光発電施設の設置）について、連携して取り組んできています。

今年度も、共通する課題が生じた場合は、同様に連携し、対応してまいります。

4 上田市諏訪形太陽光発電施設への取り組み

上田市諏訪形太陽光発電施設の設置については、住民説明会の開催を経て、令和4年10月に城下地域の全自治会長と事業者との間で協定が締結されました。

上田市の条例では、当該施設について当初の設計に変更が生じた場合は、その時点において地元説明会を行うことを定めていますが、それが履行されない中で業者側は売電を始めた経過があります。

城下まちづくり未来会議においても、法令の遵守は当然のこと、当該協定に基づき適法に施設の建設・運営が行われているかどうか自治会関係者等と確認を行い、上田市等に対する要望が求められる場合は、城下地区自治会連合会と連携して取り組んでまいります。

令和6年度 城下まちづくり未来会議予算（案）

（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

会長 増澤 吉雄

会計 金井 保芳

収入総額 6,463,000円

支出総額 6,463,000円

差引金額 0円

（収入の部）

（単位：円）

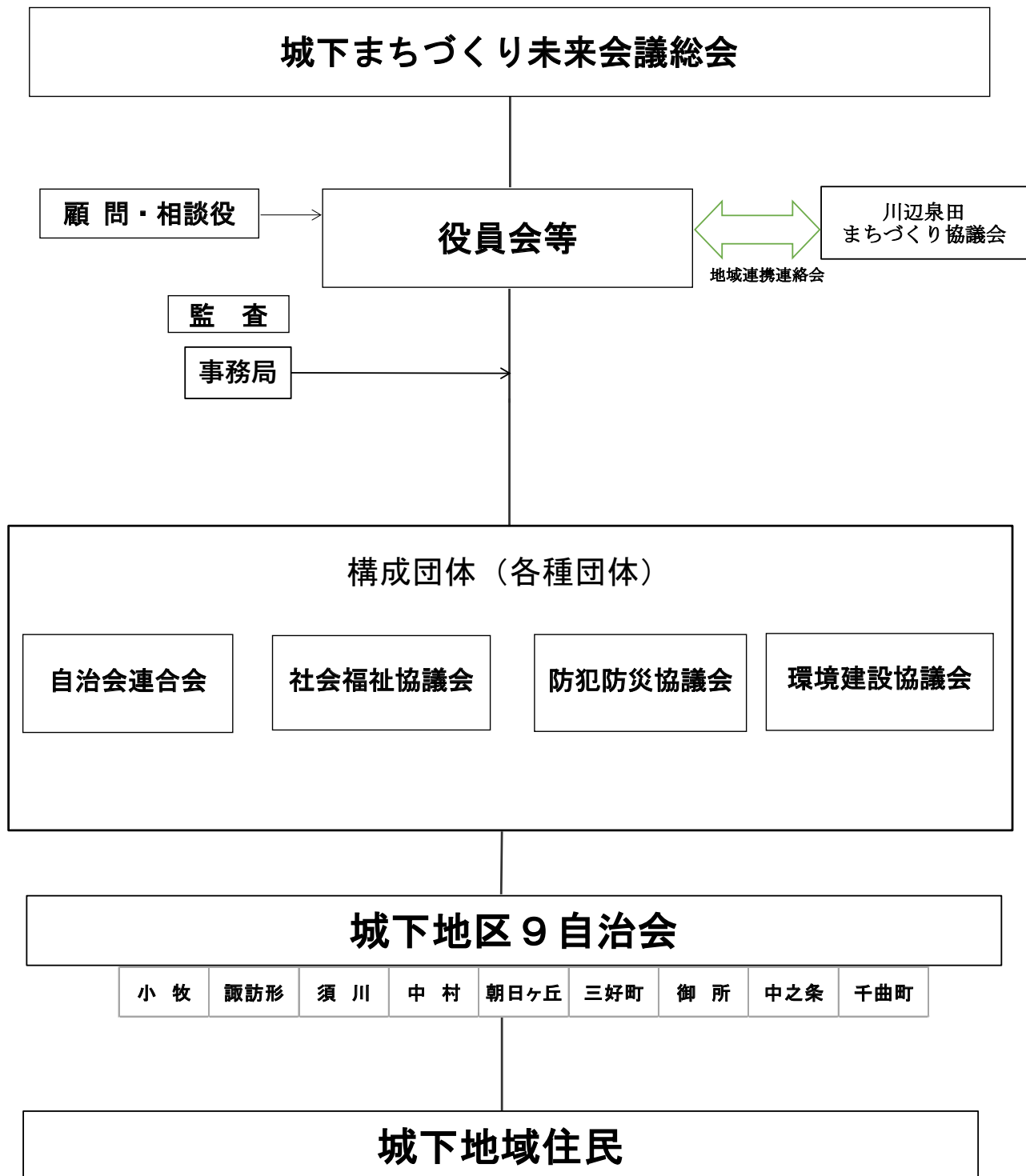
項目	上田市科目	前年度決算額 (A)	本年度予算額 (B)	比較増減 (C) = (B-A)	備 考
1. 交付金	交付金	4,964,000	4,962,000	△ 2,000	
2. 雑収入	雑入	26	890	864	貯金利息他
3. 繰入金	防災積立金	0	1,500,000	1,500,000	
4. 繰越金	繰越金	84	110	26	
	合 計	4,964,110	6,463,000	1,498,890	

（支出の部）

（単位：円）

項目	上田市科目	前年度決算額 (A)	本年度予算額 (B)	比較増減 (C) = (B-A)	備 考
1. 運営費・活動費	報酬	410,000	450,000	40,000	役員報酬24名
	賃金	1,415,750	1,479,000	63,250	事務局員賃金@1140(60アップ)
	報償費	0	0	0	
	旅費	2,000	10,000	8,000	交通費
	消耗品費	289,494	310,000	20,506	事務用品雑貨他
	燃料費	0	0	0	
	食糧費	61,897	85,000	23,103	お茶他
	印刷製本費	504,950	400,000	△ 104,950	会報300総会100
	光熱水費	0	0	0	
	修繕料	8,800	15,000	6,200	事務室のエアコン等
	通信運搬費	123,514	130,000	6,486	電話インターネット切手
	手数料	0	2,000	2,000	振込料他
	保険料	0	0	0	
	委託料	72,000	72,000	0	HPメンテナンス
	使用料及び賃借料	278,400	278,400	0	事務所家賃月264, HPサーバーレンタル14,4
	原材料費	0	0	0	
	備品購入費	1,096,595	2,592,000	1,495,405	防災備品2302棚等290
	負担金	200,600	138,000	△ 62,600	消防まつり137講演会負担金1
2. 積立	積立金	500,000	500,000	0	防災倉庫・防災備品整備事業積立
3. 予備費	予備費	0	1,600	1,600	次年度繰越金他
	合 計	4,964,000	6,463,000	1,499,000	

城下まちづくり未来会議 組織図



城下まちづくり未来会議規約

(名称)

第1条 この会は、城下まちづくり未来会議（以下「まちづくり未来会議」という。）と称する。

(区域)

第2条 まちづくり未来会議の区域は、上田市城下地域とする。

(目的)

第3条 まちづくり未来会議は、城下地域の住民が相互に連絡調整を図り、地域の活性化、住民福祉の向上に寄与するとともに、住民による住みよいまちづくり、未来づくりを推進することを目的とする。

(事務所)

第4条 まちづくり未来会議の事務所は、上田市諏訪形1160番地2 信州うえだ農業協同組合上田西支所城下店内に置く。

(事業)

第5条 まちづくり未来会議は、次の事業を行う。

- (1) 地域の振興と課題解決に向けた事業の企画、実施に関すること。
- (2) その他、目的達成に必要な事項に関すること。

(構成団体)

第6条 まちづくり未来会議には、次の構成団体をもって構成する。

- (1) 城下地区自治会連合会
- (2) 城下地区社会福祉協議会
- (3) 城下地区防犯防災協議会
- (4) 城下地区環境建設協議会
- (5) その他会長が必要と認めた部会及び委員会

(役員)

第7条 まちづくり未来会議に次の役員を置く。

- (1) 会長 1人
- (2) 副会長 若干名
- (3) 会計 1人
- (4) 事務局長 1人
- (5) 委員 15人以内
- (6) 監事 2人

2 役員は、第6条に規定する構成団体が推薦する者をもって構成する。

3 会長、副会長、会計、事務局長及び監事は、役員の互選により選任し、総会において承認する。ただし、任期の途中で欠けた場合は、役員会で選出する。

4 会長は、委員を推薦することができる。

(役員の職務)

第8条 会長は、会務を総理し、まちづくり未来会議を代表する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

3 委員は、まちづくり未来会議の運営に必要な会務を行う。

4 会計は、まちづくり未来会議の会計を行う。

5 事務局長は、事務局を掌理する。

6 監事は、まちづくり未来会議の会計を監査する。

(役員の任期)

第9条 役員の任期は、会長、副会長、会計及び事務局長は2年とし、委員及び監事は1年とする。

ただし、再任は妨げない。

2 役員に欠員が生じた場合は補充することができる。この場合の任期は、前任者の残任期間とする。

3 役員の任期が満了したときは、当該役員は、後任者が任命されるまでは、引き続きその職務を行うものとする。

(顧問)

第10条 まちづくり未来会議に顧問及び相談役を置くことができる。

2 顧問及び相談役は役員会において決定し、会長が委嘱する。

(総会)

第11条 総会は、会長が招集し、公開で行う。

2 総会は、代議員制とする。

3 会長、副会長、会計及び事務局長は、代議員となることができない。

4 総会は、代議員の過半数以上の出席（委任状を含む）をもって成立する。

5 総会の議長は、代議員が互選する。

6 総会は、年1回定期に開催する。ただし、会長が必要と認めた場合、臨時に開催することができる。

7 代議員の4分の1以上の請求があったときは、会長は総会を招集しなければならない。

8 総会は、次の事項について議決する。

(1) 規約の改廃に関すること。

(2) 事業計画及び事業報告に関すること。

(3) 予算及び決算に関すること。

(4) まちづくり計画に関すること。

(5) その他会長が必要と認めること。

9 代議員の選出については、別表に定める。

10 代議員の任期は1年とし、定期総会から翌年の定期総会の前日までとする。

11 総会の議事は、出席代議員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところとする。

12 第8項各号の事項について、緊急を要するときは、役員会の決定をもって総会の議決に代えることができる。

13 前項の規定により決定した事項は、総会で報告し承認を得るものとする。

(役員会)

第12条 まちづくり未来会議に役員会を置き、第7条の役員をもって構成する。

2 役員会は、会長が招集し、会長が議長となる。

3 役員会は、次の事項について協議する。

(1) 総会に付議すべき事項

(2) 総会により付託された事項

(3) まちづくり未来会議の運営及び執行に関する事項

(4) その他会長が必要と認めた事項

4 会長は、必要に応じて、役員以外の者を役員会に出席させ、意見を述べさせることができる。

(事務局)

第13条 まちづくり未来会議に事務局を置く。

2 会長は、事務局員を任命する。

(経費)

第14条 まちづくり未来会議の経費は、交付金その他の収入をもって充てる。

(事業年度)

第15条 まちづくり未来会議の事業年度は、4月1日から翌年の3月31日までとする。

(会計年度)

第16条 まちづくり未来会議の会計年度は、4月1日から翌年の3月31日までとする。

(補則)

第17条 この規約に定めるもののほか、この規約の施行に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

1 この規約は、平成29年6月17日から施行する。

2 平成30年6月23日一部改正

3 まちづくり未来会議の設立時の役員は、第9条第1項の規定にかかわらず、平成31年3月31日までとする。

4 令和2年4月1日一部改定

別表 (第11条 第9項関係)

(1) 各自治会が推薦する者

(2) 次に挙げる団体が推薦する者

ア 城下地区防犯防災協議会

イ 城下地区環境建設協議会

ウ 城下地区社会福祉協議会

(3) その他、会長が必要と認める団体が推薦する者

令和5年度 城下地区自治会連合会事業報告

1. 令和5年度 城下自治会連合会の総括と主な活動

新型コロナ感染症対策に留意しつつも、各自治会との情報交換を中心に、有意義な活動を行うことができました。主な活動は、以下のとおりです。

- ① 上田市自治会連合会からの指示・連絡の伝達と確認
 - ・自治会実態調査・市政三者懇談会・自治会選出委員検討協議会による提言等
- ② 自治会の現状と課題についての情報交換
 - ・上田わっしょい、敬老会、夏祭り、文化祭等、自治会や分館活動への対応
 - ・緊急時の住民への情報発信・総会開催方法等
- ③ 団体からの連絡・要請・報告
 - ・市役所・まちづくり未来会議・防犯防災協議会・上田市保護司会・安協城下支会
 - ・消防団第六分団・青少年育成市民会議等
- ④ 朝日ヶ丘太陽光発電施設建設に関する諸活動
 - ・工事現場視察の継続と問題点整理・御所沢への新たな工事計画についての対策
- ⑤ 消防まつり実行委員会による「第1回城下消防まつり」への取り組み
- ⑥ 防災センター管理に係る活動

2. 令和5年度城下自治会連合会定例役員会

日 時	会 議	開催場所
3月18日（土）	第1回城下自治連定例役員会	城下防災センター
4月22日（土）	第2回城下自治連定例役員会	城下防災センター
5月20日（土）	第3回城下自治連定例役員会	城下防災センター
6月24日（土）	第4回城下自治連定例役員会	城下防災センター
7月22日（土）	第5回城下自治連定例役員会	城下防災センター
8月26日（土）	第6回城下自治連定例役員会	城下防災センター
9月23日（土）	第7回城下自治連定例役員会	城下防災センター
10月21日（土）	第8回城下自治連定例役員会	城下防災センター
11月18日（土）	第9回城下自治連定例役員会	城下防災センター
12月23日（土）	第10回城下自治連定例役員会	城下防災センター
1月20日（土）	第11回城下自治連定例役員会	城下防災センター
2月24日（土）	第12回城下自治連定例役員会	城下防災センター

令和5年度 城下地区自治会連合会決算

期間（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

会 長	長谷川和生
計 士	田玉 昇

収入合計額 890,828 円

支出合計額 178,764 円

差引残高 712,064 円

収入の部

単位：円

	項 目	本年度予算額	本年度決算額	増 減	内 容
A	繰越金	613,276	613,276	0	前年度繰越金
B	負担金	164,960	161,360	△ 3,600	9自治会負担金（40円× 4034戸） 90戸減
C	助成金	100,000	104,900	4,900	上田市自治連（地区活動費・事務委託料） 上田市環境衛生協議会
D	使用料	15,000	3,285	△ 11,715	プリンター印刷使用料（自治連備品）
E	雑収入	5,000	8,007	3,007	貯金利息・会議等負担金
F	繰入金	0	0	0	
	合 計	898,236	890,828	△ 7,408	

支出の部

	項 目	本年度予算額	本年度決算額	増 減	内 容
1	会議費	240,000	50,051	△ 189,949	総会、新旧役員引継ぎ会、役員会
2	研修費	30,000	0	△ 30,000	役員視察研修負担金
3	交際費	50,000	0	△ 50,000	上田市自治連懇親会 各団体懇親参加祝儀 他
4	負担金補助及び 交付金	100,000	65,000	△ 35,000	県保護観察協会・城南地区青少年育成市民会議 他
5	消耗品費	30,000	713	△ 29,287	自治連備品消耗品代
6	印刷費	10,000	0	△ 10,000	
7	修繕費	10,000	0	△ 10,000	
8	役員手当	63,000	63,000	0	役員（9名） 顧問（1名）
9	旅費交通費	20,000	0	△ 20,000	
10	予備費	345,236	0	△ 345,236	
	合 計	898,236	178,764	△ 719,472	

会計監査報告

令和6年4月6日 一般会計監査を実施しました。

会計帳簿、領収書を精査した結果、収支共明確であり決算は適正であることを承認します。

監 事 宮島 範之 印

監 事 宮下 新五 印

令和5年度 城下地区防災センター決算

期間（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

管理者 稲垣 康史
会 計 田 玉 昇

収入総額 1,303,929 円

支出総額 955,521 円

差引残高 348,408 円

収 入 の 部

単位 : 円

	項 目	本年度予算額	本年度決算額	増 減	内 容
A	繰 越 金	168,476	168,476	0	前年度繰越金
B	施 設 使 用 料	650,000	640,206	△ 9,794	ホール・和室使用料
C	電 気 使 用 料	160,000	195,206	35,206	エアコン使用料、分団負担電気料
D	積 立 金 解 約	0	300,039	300,039	定期貯金0001解約
E	雑 収 入	2	2	0	貯金利息
	合 計	978,478	1,303,929	325,451	

支 出 の 部

	項 目	本年度予算額	本年度決算額	増 減	内 容
1	会 議 費	10,000	0	△ 10,000	
2	管 理 報 酬 費	80,000	80,000	0	管理費セブンイレブン 40,000円 運営委員会報酬（9名） 40,000円
3	消 耗 品 費	20,000	1,224	△ 18,776	トイレ用品他 年末清掃用具
4	修 繕 費	100,000	200,200	100,200	空調点検、女子トイレ水漏れ修理
5	研 修 費	0	0	0	
6	光 熱 水 費	600,000	565,213	△ 34,787	電気、ガス、上下水道
7	委 料 費	100,000	103,684	3,684	清掃、防災管理
8	備 品 購 入 費	10,000	0	△ 10,000	
9	事 務 ・ 印 刷 費	5,000	5,200	200	振込手数料 使用団体通信費
10	積 立 金	0	0	0	
11	予 備 費	53,478	0	△ 53,478	
	合 計	978,478	955,521	△ 22,957	

積 立 金

（令和6年3月31日）

預 入 番 号	使 途 目 的	金 額	明 細
0002	城下地区防災センター 改修積立金	300,972	1年定期貯金 期日(R6. 8. 26) 信州うえだ農協 上田西支所
0003	城下地区防災センター 改修積立金	501,948	1年定期貯金 期日(R6. 6. 17) 信州うえだ農協 上田西支所
	合 計	802,920	

会計監査報告

上記につき帳簿及び証拠書類を監査した結果、すべて適正に処理されていることを認めます。

令和6年4月6日

監 事 宮島 範之 印

監 事 宮下 新五 印

令和 6 年度 城下地区自治会連合会役員名簿

(敬称略)

	役職	氏 名	自治会	電 話
1	会 長	降旗 次男	小 牧	090-1504-0097 24-1889
2	副会長	斎藤 平二	御 所	090-7822-6413
3	副会長	山越 敏雄	諏訪形	090-4161-5282 24-8933
4	会 計	坂口 澄夫	朝日ヶ丘	090-1887-9547
5	センター管理 評議員	荒井 則雄	中 村	090-8013-2651 24-5007
6	評議員	神原 新一	千曲町	090-8490-5437 23-3526
7	評議員	手塚 博明	須 川	090-1867-5533 24-6728
8	監 事	並木 重信	三好町	090-3333-2121 22-0556
9	監 事	中沢 守人	中之条	070-8368-2785 55-9644
10	顧 問	長谷川和生	御 所	090-8776-0049 23-5781

令和6年度 城下地区自治会連合会事業計画（案）

1. 基本方針

城下地区自治会連合会は、当地区9自治会に共通する諸課題の解決に向け、関係機関・団体と一体となり、その取り組みを進めてまいります。

また、城下まちづくり未来会議を構成する各団体と連携・協働のもと、「安全で安心な地域づくり」の実現に努めてまいります。特に令和元年の台風19号災害を教訓として、地域全体での防災対策に引き続き取り組みます。

新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけが変更されたこともあり、感染対策に留意しつつも、可能な範囲で平常時の活動に近づくことができるように努めます。

2. 城下地区自治会連合会の事業

- (1) 毎月城下地区9自治会長定例会を開催し、情報の共有化を図る中で各自治会事業が円滑に推進できるよう調整に努めます。
- (2) 城下まちづくり未来会議を構成する城下地区社会福祉協議会、城下地区防犯防災協議会、城下地区環境建設協議会と連携し、上田市等への要望活動に取り組みます。
- (3) 川辺・泉田まちづくり協議会と連携し、城南地域のまちづくりに必要な事業に取り組んでまいります。
- (4) 上田市消防団第六分団の新規団員の確保に向けた協力、支援に努めます。その一環として、本年度計画されている第六分団の「第2回城下消防まつり」開催に全面的に協力いたします。
- (5) 城南公民館、城南地区青少年育成市民会議等の主催事業に参画し、城下地区住民の福祉向上に努めます。

3. 安全・安心なまちづくり事業の推進

- (1) 災害に強いまちづくりを目指し、行政と連携しながら中核となる城下地区防犯防災協議会と連携し、広域的な防災対策に取り組んでまいります。その一環として、昨年度諏訪形地区に完成した金窓寺川調整池の運用については、関係諸団体と連携しつつ、可能な範囲で協力してまいります。
- (2) 住宅化が急速に進展する地域事情に鑑み、また昨年度城下地区が上田市の「交通安全モデル地区」に指定されたことにも鑑み、交通安全協会城下支会との連携を密にし、交通事故の防止に向けた安全対策に取り組んでまいります。
- (3) 少子高齢化社会における福祉課題の解決に向け、城下地区社会福祉協議会と連携して取り組みを進めてまいります。
- (4) 朝日ヶ丘地区にほぼ完成した太陽光発電施設については、関係諸団体と連携しつつ、その安全性を注視してまいります。また、御所沢への新たな工事計画については、土石流特別計画区域（レッドエリア）でもあり、その対策強化に努めます。

令和6年度 城下地区自治会連合会予算（案）

期間(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

会 長 降旗 次男
会 計 坂口 澄夫

収入総額	993,424 円
支出総額	993,424 円
差引残高	0 円

収 入 の 部

単位 : 円

	項 目	前年度決算額	令和6年度予算額	増 減	内 容
A	繰 越 金	613,276	712,064	98,788	
B	負 担 金	161,360	161,360	0	9自治会負担金(世帯数×40円)
C	助 成 金	104,900	100,000	△ 4,900	上田市自治連(地区活動費)事務委託料、 上田市環境衛生協議会 長野県共同募金会 他
D	使 用 料	3,285	15,000	11,715	大型プリンター印刷使用料(自治連備品)
E	雑 収 入	8,007	5,000	△ 3,007	貯金利息・会議等負担金
F	繰 入 金	0	0	0	
	合 計	890,828	993,424	102,596	

支 出 の 部

	項 目	前年度決算額	令和6年度予算額	増 減	内 容
1	会 議 費	50,051	240,000	189,949	総会、新旧役員引継ぎ会、役員会
2	研 修 費	0	30,000	30,000	先進地視察研修
3	交 際 費	0	50,000	50,000	上田市自治連懇親会 他
4	負担金補助及び 交付金	65,000	100,000	35,000	城南地区青少年育成市民会議 県保護観察協会
5	消 耗 品 費	713	30,000	29,287	自治連備品消耗品代
6	印 刷 費	0	10,000	10,000	資料印刷等
7	修 繕 費	0	10,000	10,000	大型プリンター修繕(自治連備品)
8	役 員 手 当	63,000	63,000	0	役員・顧問(10名)
9	旅 費 交 通 費	0	20,000	20,000	
10	予 備 費	0	440,424	440,424	
	合 計	178,764	993,424	814,660	

令和6年度 城下地区防災センター予算（案）

期間（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

管理者 荒井 則雄

会 計 坂口 澄夫

収入総額	1,158,410 円
支出総額	1,158,410 円
差引残高	0 円

収 入 の 部

単位 : 円

	項 目	前年度決算額	本年度予算額	増 減	内容
A	繰 越 金	168,476	348,408	179,932	前年度繰金
B	施 設 使 用 料	640,206	650,000	9,794	ホール・和室使用料
C	電 気 使 用 料	195,206	160,000	△ 35,206	エアコン使用料、分団負担電気料
D	積 立 金 解 約	300,039	0	△ 300,039	
E	雑 収 入	2	2	0	貯金利息
	合 計	1,303,929	1,158,410	△ 145,519	

支 出 の 部

	項 目	前年度決算額	本年度予算額	増 減	内容
1	会 議 費	0	10,000	10,000	運営会議
2	管 理 報 酬 費	80,000	80,000	0	運営委員（9名）40,000円 セブンイレブン 40,000円
3	消 耗 品 費	1,224	20,000	18,776	トイレ用品他
4	修 繕 費	200,200	100,000	△ 100,200	
5	研 修 費	0	0	0	
6	光 熱 水 費	565,213	600,000	34,787	電気、ガス、上下水道
7	委 料 費	103,684	100,000	△ 3,684	清掃、草刈り、防災設備管理
8	備 品 購 入 費	0	10,000	10,000	
9	事 務・印 刷 費	5,200	5,000	△ 200	事務消耗品
10	積 立 金	0	0	0	定期貯金積立
11	予 備 費	0	233,410	233,410	
	合 計	955,521	1,158,410	202,889	

積 立 金

（令和6年3月31日）

預 入 番 号	使 途 目 的	金 額	明 細
0002	城下地区防災センター 改修積立金	300,972	1年定期貯金 期日(R6.8.26) 信州うえだ農協 上田西支所
0003	城下地区防災センター 改修積立金	501,948	1年定期貯金 期日(R4.6.17) 信州うえだ農協 上田西支所
合 計		802,920	

令和 5 年度 城下地区社会福祉協議会事業報告

ウィズコロナの中、城下まちづくり未来会議を構成する城下地区自治会連合会、防犯防災協議会、環境建設協議会、民生児童委員会、福祉推進協議会が主体となり、地域の福祉課題を持ち寄り、その問題解決に向け、上田市社会福祉協議会と連携を図り、福祉活動を進めてまいりました。

1 主な会議等

- (1) 城下まちづくり未来会議総会・・・4月22日（土）防災センター
- (2) 上田市社協、地区社協会長会議・・・5月16日（火）ふれあい福祉センター
- (3) 第1回城下地区福祉推進委員協議会顔合せ会…5月27日（土）防災センター
- (4) 城下自治連・未来会議懇談会・・・6月24日（土）あいさつ運動について
- (5) 第15回上田市社会福祉大会・・・10月23日（月）サントミュージゼ
表彰及び口笛コンサート
- (6) 第2回城下地区福祉推進協議会・・・・・・11月17日（金）防災センター
- (7) 会計監査・・・・・・令和6年4月3日（水）

2 福祉活動事業

- (1) 上田市社会福祉協議会会費の納入（各自治会単位）
普通会費 500 円、特別会費 1,000 円、各自治会で対応・・・6月末
・普通会費収納額 合計 1,974,000 円
- (2) あいさつ運動の推進（平成 29 年度より開始）
 - ・「城下 あいさつ・声かけ運動」実行委員会開催は、未開催
 - ・街頭活動
 - 1) 全国強調月間に合わせて、早朝より約 1 時間城下地区内 19 ヶ所一斉に実施
実施日：① 7月3日（月） ② 11月1日（水） ③ 3月1日（金）
 - 2) 標語「あいさつで明るい未来のまちづくり」の横断幕を各月 1 ヶ月間、三好町歩道橋に 2 面設置、啓発活動を行った。
 - 3) あいさつ運動用のぼり旗製作

(3) 城下地区フードドライブの取り組み

- 1) 第1回城下地区フードドライブ・・・7月22日(土) 旧JA城下店駐車場
(城下地区福祉推進委員及び未来会議三役)

＊お米 150kg、レトルト食品・カップ麺ほか

- 2) 第2回城下地区フードドライブ・10月22日(日) 城下消防まつり会場内
(城下地区福祉推進委員)

＊お米 188kg、ほか食品 80品

(4) 城下地区研修会 11月17日(金) 午後2時～防災センター

・講師 内川英貴氏 (上田市危機管理防災課防災担当係長)

・演題 「災害時、住民への緊急連絡体制について」 出席者 25名

※昨年に続き、上田市社会福祉協議会・城下地区まちづくり未来会議、
城下地区福祉推進協議会と協賛で研修会を開催しました。

(5) 自治会支部社協で行う、地域ふれあい事業の推進・・・4月～12月

(ふれあい昼食会、ふれあい茶話会、敬老行事等)

ウィズコロナの中、それぞれ工夫しながら各支部の活動を行いました。

(6) 自治会支部社協で行う、福祉活動に対し支援。

・助成金 9自治会へ 202,920円

・民生児童委員会、福祉推進協議会へ各 10,000円

令和 5 年度 城下地区社会福祉協議会決算

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

会 長 高橋 義幸
会 計 金井 保芳

収入合計額	502,369円
支出合計額	366,660円
差引残高	135,709円

収入の部

(単位；円) △は減額を示す

項目	本年度予算額 (A)	本年度決算額 (B)	比較増減 (C)=(B-A)	備 考
繰越金	206,268	206,268	0	
活動費	301,000	296,100	△ 4,900	上田市社会福祉協議会活動費
雑収入	1	1	0	貯金利息
合計	507,269	502,369	△ 4,900	

支出の部

(単位；円) △は減額を示す

項目	本年度予算額 (A)	本年度決算額 (B)	比較増減 (C)=(B-A)	備 考
会議費	5,000	0	△ 5,000	
印刷費	80,000	88,000	8,000	フードドライブチラシ印刷他
研修費	20,000	4,000	△ 16,000	11/17住民会議 講師お礼
事務消耗品費	30,000	25,740	△ 4,260	フードドライブのぼり旗5枚16.5 フードドライブ備品8.9 封筒0.3
助成金	230,000	222,920	△ 7,080	自治会助成金 各自治会戸数×40円+5,000円 民生児童委員会 10,000円 福祉推進協議会 10,000円
活動費補助	20,000	0	△ 20,000	
役員手当	25,000	26,000	1,000	役員(19名)
旅費交通費	3,000	0	△ 3,000	
予備費	94,269	0	△ 94,269	
合計	507,269	366,660	△ 140,609	

会計監査報告

上記につき帳簿及び証拠書類を監査した結果、すべて適正に処理されていることを認めます。

令和6年4月3日

監事 田玉 治實 ㊞

監事 沓掛 勝也 ㊞

令和 6 年度 城下地区社会福祉協議会役員（案）

（敬称略）

役職名	氏 名	所属団体
会 長	高橋 義幸	R 5 年度地区福祉協議会会長
副会長	北沢 育夫	地区民生児童委員会会長
副会長	手塚 博明	地区福祉推進協議会会長 地区防犯防災協議会会長 須川自治会長
副会長	降旗 次男	地区自治会連合会会長 小牧自治会長
会 計	金井 保芳	城下まちづくり未来会議会計
理 事	中澤 照夫	城下まちづくり未来会議副会長
理 事	西入 直喜	地区環境建設協議会会長
理 事	斎藤 平二	御所自治会長
理 事	山越 敏雄	諏訪形自治会長
理 事	坂口 澄夫	朝日ヶ丘自治会長
理 事	荒井 則雄	中村自治会長
理 事	神原 新一	千曲町自治会長
理 事	並木 重信	三好町自治会長
理 事	中沢 守人	中之条自治会長
理 事	水上 明美	城下地域包括支援センター所長
理 事	竹内 久子	上田市社協お結びサポーター
監 事	長谷川 和生	城下まちづくり未来会議監事
監 事	窪田 善雄	城下まちづくり未来会議監事
顧 問	宮下 省二	地元市議会議員
顧 問	増澤 吉雄	城下まちづくり未来会議会長

令和6年度 城下地区社会福祉協議会

(敬称略)

役 職 名		氏 名	自治会名	役 職	氏 名
会長 (5年度地区福祉協議会会長)		高橋 義幸	朝日ヶ丘	自治会長	坂口 澄夫
副会長 (地区民生児童委員会会長)		北沢 育夫		副自治会長	宮入 鏡
副会長 (地区福祉推進協議会会長)		手塚 博明		民生児童委員	市川 初美
副会長 (6年度地区自治連会長)		降旗 次男		福祉推進委員	手塚 雅夫
			千曲町	自治会長	神原 新一
自治会名	役 職	氏 名		副自治会長	関 雅裕
三好町	自治会長	並木 重信		民生児童委員	北沢 育夫
	副自治会長	長谷川 正則		〃	藤森 一美
	民生児童委員	市川 泉		〃	丸山 和枝
	社会福祉協議会会長	宮島 清美		社会福祉協議会会長	鋒城 康弘
須 川	自治会長	手塚 博明	諏訪形	自治会長	山越 敏雄
	副自治会長	青木 信		副自治会長	水石 康
	民生児童委員	小林 悦子		民生児童委員	細川 茂子
	福祉推進委員	手塚 博明		〃	窪田 三津子
中之条	自治会長	中沢 守人	御 所	社会福祉協議会会長	西條 和男
	副自治会長	丸山 修生		社会部長	久保田 浩次
	民生児童委員	武井 孝夫		自治会長	斎藤 平二
	〃	田中 康子	小 牧	副自治会長	池内 修一
	〃	藤松 則子		民生児童委員	竹中 久美子
	主任児童委員	岡村 さつき		民生児童委員	田玉 きよみ
	福祉推進委員	尾崎 礼子		民生児童委員	河面 美智子
中 村	自治会長	荒井 則雄		福祉推進委員	横関 陽子
	副自治会長	宮澤 英雄	小 牧	自治会長	降旗 次男
	民生児童委員	竹内 秀行		副自治会長	西入 直喜
	〃	黒田 敏子		民生児童委員	片岡 敏久
	社会福祉協議会会長	村上 好成		主任児童委員	長坂 和子
	社会部長	羽田 知道		福祉推進委員	清水 貞旨

令和 6 年度 城下地区社会福祉協議会事業計画（案）

城下まちづくり未来会議を構成する城下地区自治会連合会、防犯防災協議会、環境建設協議会、民生児童委員会、福祉推進協議会が主体となり、地域の福祉課題を持ち寄り、その問題解決に向け、上田市福祉協議会と連携を図り、福祉活動を進めてまいります。

アフターコロナに向けて、特に一人暮らし高齢者や、児童への見守り活動など出来る方法を模索し、地域全体で支える仕組みづくりを行政などと情報交換を行い推進します。

また、昨年に続き「フードドライブ」の取り組みを地区社協が中心に推進します。

1 会 議

- (1) 城下地区まちづくり未来会議総会・・・・・・・・4月27日（土）防災センター
- (2) 上田市地区社協正副会長会・・・・・・・・5月 ふれあい福祉センター
- (3) 城下地区社協3役会・・・・・・・・・・・・・随時
- (4) 城下地区福祉推進協議会・・・・・・・・・・5月・11月

2 福祉活動事業

- (1) 上田市社会福祉協議会会費の納入（各自治会毎に対応）
普通会費 500 円、特別会費 1,000 円、各自治会で対応・・・・6月末
- (2) 城下地区住民会議
住民会議の開催（福祉講演会） 城下地区防災センター（11月）
- (3) あいさつ運動の推進
 - ・目的：地域の一体感の醸成
 - ・目標：犯罪の防止、青少年の健全育成、地域社会の意識啓発
 - ・スローガン：あいさつで明るい未来のまちづくり
 - ・「城下 あいさつ・声かけ運動」街頭活動を全国強調月間に合わせ、実施（7月・11月・3月）
 - ・長野上田線三好町歩道橋に、標語「あいさつで明るい未来のまちづくり」の横断幕2面を強調月間に合わせて設置、啓発活動を行う。

- (4) 城下地区フードドライブ事業
 - ・ 第1回 7～8月、旧JA城下店駐車場で実施
 - ・ 第2回 10月開催予定の第2回城下消防まつり会場内で実施（千曲高等学校生活福祉課との協働を検討）
- (5) 上田市社会福祉大会参加（サントミューゼ）・・・・・・・・ 11月頃
- (6) 各自治会支部社協で行う地域ふれあい事業の推進・・・・・・・・ 4月～12月
（ふれあい昼食会、ふれあい茶話会、敬老行事等）
 - ・ 各自治会支部社協で行われている各事業について、情報交換及び見学参加等により連携を図る。
- (7) 各自治会支部社協や城下事務所等で行う福祉活動に対し支援（助成）する。
- (8) 先進地視察研修（こども食堂開催場所の視察を計画）

令和 6 年度 城下地区社会福祉協議会予算（案）

（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

会 長 高橋 義幸
会 計 金井 保芳

収入合計額	431,710円
支出合計額	431,710円
差引残高	0円

収入の部

（単位；円）△は減額を示す

項目	前年度決算額 (A)	本年度予算額 (B)	比較増減 (C)=(B-A)	備 考
繰越金	206,268	135,709	△ 70,559	
活動費	296,100	296,000	△ 100	上田市社会福祉協議会費活動費
雑収入	1	1	0	貯金利息
合計	502,369	431,710	△ 70,659	

支出の部

（単位；円）△は減額を示す

項目	前年度決算額 (A)	本年度予算額 (B)	比較増減 (C)=(B-A)	備 考
会議費	0	0	0	
印刷費	88,000	80,000	△ 8,000	フードドライブ印刷代他
研修費	4,000	5,000	1,000	研修会
事務消耗品費	25,740	30,000	4,260	事務消耗品等
助成金	222,920	222,800	△ 120	自治会助成金 各自治会戸数×40円+5,000円 民生児童委員会 10,000円 福祉推進協議会 10,000円
活動費補助	0	0	0	
役員手当	26,000	27,000	1,000	役員(20名)
旅費交通費	0	0	0	
予備費	0	66,910	66,910	
合計	366,660	431,710	65,050	

令和 5 年度 城下地区防犯防災協議会事業報告

1 城下地区防犯事業について

(1) 防犯意識の高揚と地域のきずなづくりの推進

ア 各種広報・啓発活動の推進

コロナ禍の中、各自治会毎に随時防犯パトロールを実施し、また市等から提供される「広報うえだ」及び「上田市メール配信サービス」等で常に新しい情報を受け、防犯活動の啓発に取り組みました。

イ 防犯研修会・出前講座等への参加

9月1日(金)サントミュージゼでの、市等主催の「第6回上小地域の安全・安心まちづくり地域大会」及び「防犯指導員研修会」に参加し防犯知識の向上を図りました。

ウ 「城下あいさつ・声かけ運動」への協力

城下地区社会福祉協議会の「城下あいさつ・声かけ運動」に参加し、保育園・幼稚園、小中高等学校および福祉施設等を対象に年3回(7月、11月、3月)協力しました。

(2) 市等の関係団体と連携・協働した防犯活動の推進

ア 市内統一の地域安全運動等への参加

- ・ 夏の地域安全運動 (7月 1日～ 7月31日)
- ・ 全国地域安全運動 (10月11日～10月20日)
- ・ 年末特別警戒活動 (12月15日～12月31日)

コロナ禍の中、状況を見ながら各自治会毎で防犯パトロールを実施しました。

イ 城下地区防犯指導員の活動

上田駅前等の動向が鎮静化したため、自治会役員等で行う合同防犯パトロールは実施しませんでした。

(3) 安全対策の推進

ア 子ども・女性・高齢者等の安全対策に関する研修会及び出前講座の開催は、コロナ禍のため中止しました。

イ 子どもを犯罪から守る活動では、学校関係者、防犯指導員、防犯ボランティアと連携して登下校時の見守り活動の協力を行いました。

2 城下地区防災事業について

(1) 城下地区防災計画に基づいた活動の推進

「城下地区防災計画」(令和4年3月策定)に関連する「城下地区指定避難所運営マニュアル」(平成25年3月策定)の見直しを計画しましたが、新規事業に対応したため次年度以降に行いたいと考えます。

(2) 城下地区防災訓練等の実施

第1回城下消防まつりを行う中で重点目標を達成いたしましたので、新たなる訓練は行いませんでした。〔(3) 城下消防まつりの開催を参照願います。〕

(3) 第1回城下消防まつりの開催

目的: 当消防まつりを通じて城下地区住民の防火・防災意識の啓発を図り、消防団のスキル向上と消防団活動をアピールするとともに、新入団員の確保を行う。

日時: 令和5年10月22日(日) 午前9時から11時30分

場所: 上田市立城下小学校校庭

来場者: 684人(スタッフ161人で総数845人)

会議開催: 実行委員会8回、その他会議31回 計39回

※ 当日は親子連れ等が大勢来場され、ご協力いただいたアンケートの結果から満足度は85パーセントと好評をいただく消防まつりとなりました。

開催にあたり、多くの皆様のご協力に対しまして深く感謝申し上げます。

(4) 災害時における9自治会間の応援体制の確立

ア 城下地区災害応援協定(平成25年11月30日締結)の推進

参考: 諏訪形地区災害応援協定(平成31年4月14日締結)

- ・ 情報の共有について
- ・ 防災資器材の貸借について

イ 自治会屋外放送設備及びサイレン設置の研究

今後も研究等を継続していきます。

(5) 城下小・南小・四中における避難訓練への参加

コロナ禍から、上記避難訓練への参加はありませんでした。

(6) 城下地区防災センターへの防災倉庫及び防災備品の整備

以前から取組んできた城下地区の課題であった、9自治会が共有する防災備品の充実を図ることを目的とし、令和6年2月12日当防災センター敷地内に防災倉庫を設置しました。

ア 倉庫サイズ 幅220cm×奥行305cm×高さ209cm 奥棚3段

イ 備品購入

- ・ 投光器(防災用30ワット×2灯式LED一式)
- ・ 発電機(ホンダEU10iGBエネポ カセットボンベタイプ)
- ・ ポータブル電源(蓄電容量3,000ワット)

※ 今後も防災備蓄品の充実を図っていきます。

(7) 火災予防運動への協力

ア 春の火災予防運動 3月1日～ 3月7日

イ 秋の火災予防運動 11月9日～11月15日

(参考) 火災件数(令和5年1月1日～令和5年12月31日)

上田広域43件 城下地区4件(内訳 建物1 車両2 その他1)

※ 城下地区における無火災自治会表彰(小牧、諏訪形、御所各自治会)

(8) 上田市消防団第六分団消防委員会への協力

ア 消防団員の確保と装備の充実

イ 機能別消防団員制度

(9) 防災対策とする千曲川河川沿いの樹木の伐採を国等に要望し、諏訪形河川敷グランド下流側の樹木の伐採が実施されました。

(10) 自主防災組織リーダー研修への参加

- ・ 日時 令和5年5月23日(火)
場所 上田創造館
- ・ 日時 令和6年2月16日(金)
場所 上田創造館

令和 5 年度 城下地区防犯防災協議会決算

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

会 長 手塚 博明
会 計 金井 保芳

収入合計額	197,100円
支出合計額	118,862円
差引残高	78,238円

収入の部

(単位；円) △は減額を示す

項目	予算額 (A)	決算額 (B)	比較増減 (C) = (B-A)	備 考
繰越金	138,350	147,100	8,750	
補助金	50,000	50,000	0	上田市防犯協会より
雑収入	0	0	0	
合計	188,350	197,100	8,750	

支出の部

(単位；円) △は減額を示す

項目	予算額 (A)	決算額 (B)	比較増減 (C) = (B-A)	備 考
会議費	0	0	0	
報償費	0	0	0	
研修費	30,000	0	△ 30,000	
交通費	0	240	240	口座引き落としに伴う農協往復自家用車交通費 (R5.4～R6.3)
交際費	0	0	0	
印刷費	0	0	0	
活動費	100,000	105,622	5,622	防災用品(ゼッケンベスト36着40 防寒アルミ500個55他)他
消耗品費	7,000	0	△ 7,000	
役員手当	14,000	13,000	△ 1,000	役員7名(正・副2・会計・顧問3)
予備費	37,350	0	△ 37,350	
業務委託費	0	0	0	
合計	188,350	118,862	△ 69,488	

会計監査報告

上記につき帳簿及び証拠書類を監査した結果、すべて適正に処理されていることを認めます。

令和6年4月3日

監事 田玉 治實 ㊟

監事 沓掛 勝也 ㊟

令和 6 年度 城下地区防犯防災協議会役員（案）

（敬称略）

役 職	氏 名	所 属 団 体 等	自治会
会 長	手塚 博明	城下地区防犯防災協議会会長	須 川
副会長	中村 哲夫	城下地区防犯防災協議会副会長	御 所
副会長	降旗 次男	城下地区自治会連合会会長	小 牧
会 計	金井 保芳	城下まちづくり未来会議会計	諏訪形
理 事	高橋 義幸	城下地区社会福祉協議会会長	中之条
理 事	西入 直喜	城下地区環境建設協議会会長	小 牧
理 事	江村 賢一	上田警察署川辺交番所長	—
理 事	宮下 省二	消防団第六分団消防委員長	諏訪形
理 事	砥石 剛志	消防団第六分団長	千曲町
理 事	宮島 範之	令和 5 年小牧自治会長	小 牧
理 事	稲垣 康史	令和 5 年諏訪形自治会長	諏訪形
理 事	村上 好成	令和 5 年中村自治会長	中 村
理 事	丸山 孝	令和 5 年朝日ヶ丘自治会長	朝日ヶ丘
理 事	田玉 昇	令和 5 年三好町自治会長	三好町
理 事	中澤 伸夫	令和 5 年中之条自治会長	中之条
理 事	宮下 新五	令和 5 年千曲町自治会長	千曲町
理 事	山越 敏雄	令和 6 年諏訪形自治会長 ・ 城下地区防犯指導員班長	諏訪形
理 事	荒井 則雄	令和 6 年中村自治会長	中 村
理 事	坂口 澄夫	令和 6 年朝日ヶ丘自治会長	朝日ヶ丘
理 事	並木 重信	令和 6 年三好町自治会長	三好町
理 事	斎藤 平二	令和 6 年御所自治会長	御 所
理 事	中沢 守人	令和 6 年中之条自治会長 ・ 城下地区防犯指導員副班長	中之条
理 事	神原 新一	令和 6 年千曲町自治会長 ・ 城下地区防犯指導員副班長	千曲町
理 事	長坂 邦彦	上田交通安全協会城下支会会長	小 牧
理 事	柳原 孝一	城下小学校校長	—
理 事	柳沢 誠	南小学校校長	—
理 事	大塚 明彦	第四中学校校長	—
監 事	長谷川和生	城下まちづくり未来会議監事	御 所
監 事	窪田 善雄	城下まちづくり未来会議監事	諏訪形
顧 問	宮下 省二	市議会議員	諏訪形
顧 問	小坂井 正明	元城下地区防犯防災協議会会長	御 所
顧 問	小林 久敏	前城下地区防犯防災協議会会長	諏訪形

令和 6 年度 城下地区防犯防災協議会事業計画（案）

【参 考】

上田市防犯防災協議会の設置状況について(4地区)

- ① 城下地区防犯防災協議会(9自治会)
- ② 神科地区防犯防災協議会(16自治会)
- ③ 豊殿地区防犯防災協議会(16自治会)
- ④ 南部地区防犯防災協議会(9自治会)

1 城下地区防犯事業について

(1) 防犯意識の高揚と地域のきずなづくりの推進

ア 各種広報・啓発活動の推進

防犯指導員と協力し、各自治会毎で防犯パトロールを実施し、また犯罪の発生状況及び防犯対策について「広報うえだ」、「上田市メール配信サービス」による常に新しい情報を受け、防犯活動の啓発を図る。

イ 防犯研修会・出前講座等への参加

市主催の「第7回上小地域の安全・安心まちづくり地域大会」及び「防犯指導員研修会」に参加し、防犯知識の向上を図る。

期日 令和6年9月20日(金)

場所 サントミューゼ大ホール

ウ 「城下あいさつ・声かけ運動」への協力

城下地区社会福祉協議会の「城下あいさつ・声かけ運動」に参加し、保育園、幼稚園、小中高等学校および福祉施設等を対象に協力する。

(2) 市等の関係団体と連携・協働した防犯活動の推進

ア 市内統一の地域安全運動等への参加

- ・ 夏の地域安全運動（7月1日～7月31日）

- ・全国地域安全運動（10月11日～10月20日）

- ・年末特別警戒活動（12月15日～12月31日）

イ 城下地区防犯指導員の活動への協力

(3) 安全対策の推進

ア 子ども・女性・高齢者等を対象とする研修会及び出前講座を開催し、安全対策を図る。

イ 子どもを犯罪から守る活動として、学校関係者、防犯指導員、防犯ボランティアと連携して登下校時の見守り活動に協力する。

ウ 防犯灯の状況確認および申請について

2 城下地区防災事業について

(1) 城下地区防災計画に基づいた活動の推進

城下地区防災計画の見直し(城下地区指定避難所運営マニュアル)

(2) 城下地区防災センターに設置した防災倉庫への防災備蓄品の整備

(3) 城下地区防災訓練等の実施

9自治会合同による研修会及び訓練を通じて、防災意識の高揚を図る。

(4) 災害時における9自治会間の応援体制の確立

城下地区災害応援協定(平成25年11月30日締結)の推進

参考:諏訪形地区災害応援協定(平成31年4月14日締結)

- ・情報の共有について

- ・防災資器材の貸借について

(5) 自治会屋外放送設備等の情報伝達手段の研究

(6) 第2回城下消防まつりの開催

日時 令和6年10月20日(日) 午前9時30分から11時30分

場所 南小学校校庭及び体育館

(7) 城下小・南小・四中における避難訓練への参加

(8) 災害時住民支え合いマップの整備促進への協力

(9) 火災予防運動への協力

ア 春の火災予防運動 3月 1日～ 3月 7日

イ 秋の火災予防運動 11月 9日～11月15日

(10) 上田市消防団第六分団消防委員会への協力

ア 消防団員の確保と装備

イ 機能別消防団員制度

ウ 「第六分団を発展させる会」への協力

(11) 自治会の管理する消火栓用器具箱の点検実施

(12) 千曲川に係る自治会(城下・川辺地区)等による連携協議会の設置

令和 6 年度 城下地区防犯防災協議会予算（案）

（令和6年 4 月1日～令和7年3月31日）

会 長 手塚 博明
会 計 金井 保芳

収入合計額	128,238円
支出合計額	128,238円
差引残高	0円

収入の部

（単位；円）△は減額を示す

項目	前年度決算額 (A)	本年度予算額 (B)	比較増減 (C)=(B-A)	備 考
繰越金	147,100	78,238	△ 68,862	
補助金	50,000	50,000	0	上田市防犯協会より
雑収入	0	0	0	
合計	197,100	128,238	△ 68,862	

支出の部

（単位；円）△は減額を示す

項目	前年度決算額 (A)	本年度予算額 (B)	比較増減 (C)=(B-A)	備 考
会議費	0	5,000	5,000	
報償費	0	0	0	
研修費	0	0	0	
交通費	240	240	0	
交際費	0	0	0	
印刷費	0	0	0	
活動費	105,622	100,000	△ 5,622	防犯防災訓練等
消耗品費	0	7,000	7,000	事務用品等
役員手当	13,000	13,000	0	役員7名（正・副2・会計・顧問3）
予備費	0	2,998	2,998	
業務委託費	0	0	0	
合計	118,862	128,238	9,376	

令和 5 年度 城下地区環境建設協議会事業報告

1 広域的課題対応

○旧長池導水路の維持管理について

本水路の維持管理を行っている朝日ヶ丘自治会が抱える課題について、長池導水路用途廃止の経過、現状、今後課題等を共有する中で、朝日ヶ丘自治会、城下地区連合自治会と協議を重ね、今後の対応を検討しました。

<協議確認事項>

- ① 朝日ヶ丘自治会の上部山裾を流れる本水路は、諏訪形、朝日ヶ丘、御所、中村地域の「頭の上を流れる川」であり、溢水による床下浸水被害が発生したこともある、地域にとっては災害懸念のある水路であること。
特に太陽光発電施設の直下を流れる水路であり、大雨時の水対策、安全確保について不安が増していること。
- ② 朝日ヶ丘自治会では、防災の観点から毎年草刈り、土砂上げを行ってきたが、御所沢に向かう流末約 130m の区間は急傾斜で管理道路もなく（一部に破損箇所もある）、作業は困難を極め危険を伴う状況であること。
- ③ 朝日ヶ丘自治会では、太陽光発電施設維持管理対応組織「朝日ヶ丘 43 みらい会議」を立ち上げ、本水路の維持管理については、行政と管理範囲の棲み分けを行いながら自治会としての責務を果たしていきたいことを表明した。

<対応>

自治会で対応できない危険箇所については市直轄で管理をすること及び破損箇所の修繕、整備を要望する。

令和 5 年度要望に載せる。

2 要望活動事業

「城下地域の主要道路、水路の整備、災害防止対策、教育環境整備等の広域的な課題及び辺地対策に係る課題」を要望活動の対象として、城下地区自治会連合会と共に、令和 5 年 12 月 13 日、市へ要望書を提出しました。

出席者：城下地区全自治会長、朝日ヶ丘 43 みらい会議会長、
まちづくり未来会議役員、宮下市議会議員

上田市：土屋上田市長、佐藤都市建設部長、堀内市民協働・参画推進課長

(1) 令和 5 年度要望項目

- ① 城下地区雨水排水対策事業の早期完了について（継続）
- ② 朝日ヶ丘地区旧長池導水路の維持管理について（新規）

③ 県道上田塩川線（金窓寺川関連）の防災対策について（新規）

(2) 要望内容

① 城下地区雨水排水対策事業（継続）

令和３年度から対策工事実施中。早期完了を要望

※宮下市議から、御所沢川調整池は令和６年度着手、７年度で完成予定との説明あり

② 朝日ヶ丘地区旧長池導水路の維持管理（新規）

※前記広域的課題対応を踏まえた要望

朝日ヶ丘自治会上部の山裾を流れる旧長池導水路は、長池への用水供給の役割を終えた後も、山から流れ出る水を御所沢川へ排出する重要な役割を負っている。

当地域にとっては「頭の上を流れる川」として、安全対策は不可欠である。本水路の上段では太陽光発電施設の建設に伴う大規模な林地開発が行われたが、大雨時の水対策、安全確保等について心理的な不安感を拭き切れない。

朝日ヶ丘自治会では、防災上の観点から、毎年草刈り、土砂上げ等の維持管理を行ってきたが、自治会員の減少、高齢化が進展する中、年々管理作業が困難となっている。特に御所沢川へ向かう流末の約130mの間は急傾斜であり、管理道路もないため作業には危険を伴う状況である。

当該区間については、上田市から専門業者への作業委託による管理及び破損箇所の修繕を含め整備を要望する。

佐藤都市建設部長

「太陽光発電施設の関係で現地は踏査しているが、要望箇所について改めて確認の上、検討したい」

③ 県道上田塩川線（金窓寺川関連）の防災対策（新規）

県道上田塩川線の金窓寺川をボックスカルバートで横断している箇所について、令和元年の東日本台風の際には流れ込んだ巨石等が内部で詰まり、溢れ出した土砂が県道上に堆積し、交通に支障が出た。

最近、上田地域では経験したことのない豪雨による災害が多発しており、特に令和５年夏に真田地区で発生した土砂災害では、ボックスカルバート内に石等が詰まったことが被害を大きくしたと聞いている。

昨今の異常気象による豪雨災害が多発する中、他地区の災害実例を見るにつけ、本箇所への不安感は増している。再び交通に支障が出ないように対策を要望する。

佐藤都市建設部長

「真田地区の災害状況を見て、同様の危険があると思う。県道との関連もあるので、まずは上田市として建設事務所と協議をし、対応を検討したい」

なお、上記要望に対する回答は令和6年4月頃の予定。

3 上田市霊園北側水路整備（令和4年度要望回答）について

7月1日、諏訪形公民館に、上田市環境部、土木課、諏訪形自治会役員、まちづくり未来会議が一堂に会し、上田市霊園北側水路の整備に関し、これまでの要望経過を踏まえた上田市の方針が示され、確実に事業実施されることが確認されました。

4 活動経過等

5月20日 城下自治連会議

- ・令和4年度要望の回答状況（上田市）等報告
- ・令和5年度事業計画の説明（要望活動事業、広域的課題対応）

7月1日 上田市霊園北側水路整備に関する説明会（諏訪形公民館）

7月22日 城下自治連会議

- ・広域的課題の検討、自治会要望との調整について
- ・令和4年度要望回答（長野県）報告

9月23日 城下自治連会議

- ・令和5年度要望案件協議 県道上田塩川線、金窓川ボックスカルバートの防災対策について

10月15日 まちづくり未来会議3役会（宮下市議出席）

- ・朝日ヶ丘旧導水路に係る維持管理について

11月6日 朝日ヶ丘 43 みらい会議と朝日ヶ丘旧導水路に係る維持管理について協議

- ・出席者：増沢会長、高橋事務局長、長谷川自治連会長、西入環境建設協議会長、丸山朝日ヶ丘自治会長、朝日ヶ丘 43 みらい会議東城会長、同高橋事務局長

11月7日 まちづくり未来会議3役会

- ・朝日ヶ丘旧導水路の維持管理に係る要望について協議

11月8日 城下自治連会議

- ・朝日ヶ丘自治会からの旧導水路に係る維持管理要望について、地域全体の課題として要望することを決定

12月13日 上田市長に要望書提出

令和 6 年度 城下地区環境建設協議会役員（案）

（敬称略）

役 職	氏 名	選 出 区 分	自治会
会 長	西入直喜	学識経験者	小牧
副会長	中澤照夫	城下まちづくり未来会議副会長	中之条
副会長	降旗次男	城下地区自治連会長・小牧自治会長	小牧
理 事	高橋義幸	城下地区社会福祉協議会会長	中之条
理 事	手塚博明	城下地区防犯防災協議会会長・須川自治会長	須川
理 事	相田賢治	六か村堰土地改良区理事長	諏訪形
理 事	宮下省二	第六分団消防委員長	諏訪形
理 事	柳澤登美男	学識経験者	中村
理 事	山越敏雄	令和 6 年 諏訪形自治会長	諏訪形
理 事	坂口澄夫	令和 6 年 朝日ヶ丘自治会長	朝日ヶ丘
理 事	斎藤平二	令和 6 年 御所自治会長	御所
理 事	荒井則雄	令和 6 年 中村自治会長	中村
理 事	並木重信	令和 6 年 三好町自治会長	三好町
理 事	中沢守人	令和 6 年 中之条自治会長	中之条
理 事	神原新一	令和 6 年 千曲町自治会長	千曲町
理 事	宮島範之	令和 5 年 小牧自治会長	小牧
理 事	稲垣康史	令和 5 年 諏訪形自治会長	諏訪形
理 事	丸山 孝	令和 5 年 朝日ヶ丘自治会長	朝日ヶ丘
理 事	村上好成	令和 5 年 中村自治会長	中村
理 事	田玉 昇	令和 5 年 三好町自治会長	三好町
理 事	長谷川和生	令和 5 年 御所自治会長	御所
理 事	中澤伸夫	令和 5 年 中之条自治会長	中之条
理 事	宮下新五	令和 5 年 千曲町自治会長	千曲町
顧 問	宮下省二	城下まちづくり未来会議相談役	諏訪形
顧 問	小野澤義和	学識経験者	中村

令和 6 年度 城下地区環境建設協議会事業計画（案）

1 広域的課題対応

城下地区自治会連合会と地域の課題・懸案を共有し、その解決に向け、対応を協議します。

2 要望活動事業

- (1) 城下地域の主要道路、水路の整備、災害防止対策、教育環境整備等の広域的な課題及び辺地対策に係る課題について、城下地区自治会連合会と協議を行い、要望事項の取りまとめを行います。
- (2) 要望事項の内容に応じ、市、県の担当課所と協議を行い、課題を共有する中で事業化の促進に努めます。